

令和4年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和4年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター	所管課	ものづくり推進課
所在地	〒020 - 0055 盛岡市繫字尾入野64-102		
電話番号	(019) 689 - 2201	設立年月日	昭和59年8月31日
代表者	理事長 谷藤裕明 ☐ 常勤 ☒ 非常勤	☐ 市OB ☒ 市現職 ☐ その他	
設立目的	盛岡地域の地場産業を振興するための事業を行い、地場産業の育成と強化を図り、公正かつ自由な経済活動の機会の確保と地域住民の生活安定向上及び福祉の増進に寄与する。		
主要事業	① 地場産業振興事業(地場産品紹介普及啓発事業) ② 地場産業振興事業(体験学習事業) ③ 地場産業振興事業(展示資料室運営事業) ④ 人材育成事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☒ ある (アドレス https://tezukurimura.com)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☒ 事業内容 ☒ 財務状況 ☒ 役員氏名 ☒ その他(定款・評議員会規程・評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程)
ホームページ以外での情報提供の方法
岩手県商工労働観光部産業経済交流課、盛岡市総務部総務課情報公開室への情報提供

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計
			うち市OB	うち市派遣		
役員	理事	1	1	0	14	15
	監事	0	0	0	2	2
	計	1	1	0	16	17
職員	管理職	正職員	0	0	0	1
		臨時職員	1	—		
	一般職	正職員	4	0	0	12
		臨時職員	8	—		
	計	正職員	4	0	0	13
		臨時職員	9	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 1	減 0	常勤職員の平均年齢		50.2 歳
常勤職員の給与体系						
☐ 法人独自の給与体系 ☐ 市の給与体系を準用 ☒ その他(国一部準用)						

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	27,370 千円	本市出資等額	10,555 千円	本市出資等割合	38.5 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 38.5 %)				
② 岩手県	(出資等割合 27.4 %)				
③ 業界組合(昭和59年当時 24組合・団体)	(出資等割合 17.7 %)				
④ 関係町村(昭和59年当時 7町4村)	(出資等割合 8.9 %)				
⑤ 商工団体(昭和59年当時 12商工会)	(出資等割合 7.3 %)				
令和4年度における当市の財的関与の状況	補助金	45,000 千円	(収入全体の	28.8 %)	
	負担金・交付金	475 千円	(収入全体の	0.3 %)	
	委託料	4,688 千円	(収入全体の	3.0 %)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
補助金内訳					
① 令和4年度地場産業振興事業費補助金		(令和4年度予算額	44,000	千円)	
② 令和4年度人材育成事業費補助金		(令和4年度予算額	1,000	千円)	
負担金・交付金内訳					
① 令和4年度地場産業対策事業負担金		(令和4年度予算額	475	千円)	
委託料内訳					
① 令和4年度市有施設維持管理業務委託料		(令和4年度予算額	4,688	千円)	
指定管理料内訳					
①		(令和4年度予算額		千円)	
②		(令和4年度予算額		千円)	
③		(令和4年度予算額		千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		利用料金収入(令和4年度予算額)			千円
		法人の収入全体の			%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	
-------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
①展示即売室売上	円	計画	180,000,000	171,749,000	179,200,000
		実績	168,035,628	161,842,153	136,881,463
②体験学習売上	円	計画	20,550,000	17,700,000	25,100,000
		実績	17,416,550	24,160,400	26,913,250
③展示資料室入場料	円	計画	242,000	250,000	278,000
		実績	248,440	162,160	97,760
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円,%,人)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収支の状況	総収入	143,392	223,135	186,963
	当期収入(A)	141,113	225,442	168,773
	基本財産運用収入	2	2	0
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	36,721	42,440	44,039
	うち市からの補助金等(B)	35,945	42,340	44,039
	事業収入(C)	104,322	158,777	124,444
	うち自主事業収入	97,556	117,612	96,588
	うち市からの委託料(D)	6,766	41,165	27,856
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	68	24,223	290
	前期繰越額	2,279	▲ 2,307	18,190
	総支出	145,699	204,945	172,581
	当期支出	145,699	204,945	172,581
	人件費	44,895	50,171	52,014
	事業費(人件費除く)	94,106	149,278	115,298
	管理費(人件費除く)	2,514	2,400	2,456
	資産取得支出	1,371	283	0
	繰入金支出	0	0	0
	その他の支出	2,813	2,813	2,813

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収支の状況	当期収支差額	▲ 4,586	20,497	▲ 3,808
	次期繰越収支差額	▲ 2,307	18,190	14,382
正味財産 の 状況	経常収益(F)	141,114	203,244	168,774
	経常費用	151,055	209,502	178,782
	当期経常増減額	▲ 9,941	▲ 6,258	▲ 10,008
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	72	72	72
	当期経常外増減額	▲ 72	▲ 72	▲ 72
財産の状況	資産(G)	596,356	602,605	590,013
	うち固定資産	578,617	568,574	560,661
	うち流動資産(H)	17,739	34,031	29,352
	負債	28,204	40,782	38,270
	うち固定負債	10,279	27,537	24,797
	うち流動負債(I)	17,925	13,245	13,473
	正味財産(J)	568,152	561,822	551,742
	うち当期正味財産増減額	▲ 10,013	▲ 6,330	▲ 10,080
財務指標	流動比率(H/I)	98.9	256.9	217.8
	自己資本比率(J/G)	95.2	93.2	93.5
	職員一人当たり収益高(F/(K+L))	12,828.5	16,937.0	12,982.6
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	25.4	18.7	26.0
	事業収入に占める市委託料・指定管理料の割合((D+E)/C)	6.4	25.9	22.3
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	11	12	13
	うち常勤職員数	11	12	13
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	1	1	1
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	5.9	5.9	5.9
	管理職員比率	9.1	8.3	7.7
	職員新規採用数	1	2	2
	うち常勤職員数	1	2	2
事業指標	① 総入場者数(人)	375,531	156,120	162,308
	② 展示即売室購買客数(人)	67,802	46,482	42,632
	③ 展示資料室入場者数(人)	2,604	1,788	1,046
	④ 手づくり教室体験者数(人)	12,049	14,429	15,991

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額	35,945	42,340	44,039
	① 地場産業振興事業補助金	34,945	40,916	43,019
	② 人材育成事業補助金	1,000	1,000	1,000
	③ 新型コロナウイルス感染症市内特産品販売促進	0	424	0
	③ 盛岡の名品と観光展助成金	0	0	20
	負担金・交付金額	475	0	0
	① 地場産業対策事業負担金	475	0	0
	委託金額	6,766	41,164	27,856
	① 市有施設維持管理業務	4,644	4,688	4,688
	② 盛岡地域ものづくり魅力向上事業	2,122	0	500
	③ 特産品消費拡大支援事業	0	26,711	12,999
	④ もりおかエール便事業	0	9,765	9,669
	上記のうち再委託額	3,345	8,613	9,009
	上記業務の委託契約方法	一者随意契約	一者随意契約	一者随意契約
	指定管理料			
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			

令和3年度決算の概要

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下、前年度に引き続き、事業の中止や事業内容の大幅な見直し等を余儀なくされ、入場者数は162,308人と大きく減少した前年並み(対前年104%)の結果となった。盛岡市から、新型コロナウイルス感染症等に係る固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置の適用を受けるなど、運営資金の確保に留意し、運営と事業の継続に努めた。こうした状況の中、盛岡市の緊急経済対策により実施した8月・9月期の「特産品消費拡大支援事業(商品30パーセント割引キャンペーン・対象期間割引対象売上金額33,333千円)」・県外に進学した学生等に地元特産品の詰め合わせを送付する「もりおかエール便事業(送付件数1,500個・売上金額7,500千円)」等から展示即売室売上は、136,881千円(対前年84.6%)の実績となり、地域経済の回復と業界の振興に寄与した。また、昨年度に引き続き秋以降に県内外の小・中学校の修学旅行の受け入れが集中し、体験学習売上は26,913千円(対前年111.4%)の実績をあげる事ができた。事業収益は、展示即売室の売上減による収益減、委託事業等の委託料収益減から減となり、経常収益は34,470千円減の168,774千円であった。経常費用は商品仕入等事業原価の減(▲12,355千円)、委託事業の割引原資の減(▲9,836千円)、固定資産税の減等による租税公課の減(▲5,700千円)等から対前年▲30,720千円の178,782千円、法人税・住民税及び事業税72千円と併せ、当期正味財産増減額は▲10,080千円となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

C	A: 良好, B: 概ね良好, C: 改善を要する, D: 大いに改善を要する
(コメント) 【概況】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ売上を回復させる計画に対して、展示即売室売上実績は減少したものの、体験学習売上実績は増加した。令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により来場者の激減があった一方で、市の新型コロナ緊急経済対策の委託・秋以降の小・中学校修学旅行受入による体験学習の売上増等はあったものの、結果、売上は前年を下回った。 【収支の状況】 支出は、職員（一般職・臨時職員）の採用等による人件費の増以外は、ほぼ横ばいの状況である。収入としては、市の緊急経済対策事業に係る委託事業及び自主事業により収入維持に努めたが、総じて、1,000万円の経常赤字となった。 【財務の好転に向けて】 財務の好転には、売上の増加を図ることが不可欠であり、来場者数の増加が求められるが、コロナ禍の現在においては難しい状況であり、それに代わる手段として、令和2年度も好調であったインターネット販売の強化が期待される。このほか、手づくり村工房、ネットワーク化しつつある村外の工房、業界組合、広域市町と連携及び企画協力した展示即売室や催事等の事業の魅力向上が求められる。 中長期的には、老朽化の進む設備の更新を計画的に行うとともに、利用の程度が低い財団建物の2階の展示資料室の見直しや会議室の活用策、さらには、財団の機能や事業内容の見直しも行う必要があると考えられる。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和2年度決算において黒字である。		○
2	令和3年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	令和3年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」